

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年4月24日 NO.6



モンタ博士「はーい! 国立第七小学校のよい子のみなさん。こんにちは。今日は、モンタ博士のお友達がこの第七小学校に遊びに来てくれました。」

オー君 「お友達ってだれですか。」

モンタ博士「お友達というのはね、タヌキくん・アナグマくん・ハクビシンくんでーす。」



図工K先生「さあさあ! みなさん。エンピツと画用紙を用意しましたので、みんなで、楽しく

『スケッチ大会』をしましょう。」

子ども達 「わーい! わーい! エンピツ下さい。」

子ども達 「わーい! わーい! 画用紙も下さい。」

オー君 「モンタ博士! さわってもいいんですか。」

モンタ博士「もちろんだよ。どんどんさわっていいよ。自分

の手でさわって、どんな感じがするかを自分で知ることが大切なんだ。」



子ども達 「うわあー！きもちいいな。」

子ども達 「うわあー！あったかそうだね。」

子ども達 「ひげもさわっていいの。」

モンタ博士「OK。毛が多いだろ。だから『ケモノ』なんだよ。」

図工 K 先生「さわった感じ、きもちいい毛の感じなど、どんどんかいてみようね。よくよく見てごらん。いろいろな発見があるわよ。それをかけばいいのよ。」

モンタ博士「神村先生のいうとおりだね。うまくかこうとか、失敗したらいやだな、なんて思わずに、楽しむことが大切なんだよ。」

子ども達 「あせらずに、静かに、じっくりと、ていねいに見ることが大切なんですね。」

子ども達 「昼休みにも来ていいですか。」

図工 K 先生「もちろんですよ。みなさんが来てくれるのを、タヌキくん・アナグマくん・ハクビシンくんとお待ちしています。」

モンタ博士「みんな、一生懸命にかいていてとてもえらいね。感心しました。どれどれ、みんなの作品を見せてもらおうかな。」

子ども達 「はい！かけました！モンタ博士、神村先生、見て下さーい。」



作：Oさん



作：Sさん



作：Hさん

モンタ博士「うわあー！みんな、とてもよくかけていますね。すばらしい！ブラボー！」

図工 K 先生「みなさんの作品は、児童玄関にかざります。楽しみにしていただきーい。」

・・・ということで、楽しかったスケッチ大会は終わったとさ・・・。

絵をかくことの大切さ

絵を描くということはどういうことでしょうか。上手・下手とよくいいますが、あまり気にしないでのびのびと描くことが大切です。描く時には、見ることです。対象に向かってじっくりと見て、静かに見て、細かく見る。にらめっこみたいなものです。何度も見ているうちに必ず発見があり、観察力が高まります。様々なものに対する観察力を高め鍛えるためにも、絵を描くことはとても良いことで意味の深いものです。とは言っても、何といっても楽しむことが一番。よくかけた！上手くかけたぞ！と自分をほめたりしながら、自信を持ちながら描き続けましょう。周りの人と比べて上手・下手と言わずに、前の自分と比べて少し上手く描けたな。丁寧に描けたなと喜びながら…。

